

みえ自主防だより

伊勢湾台風50年



風水害
特別号

防災みえ.jp <http://www.bosaimie.jp>

発行:三重県防災危機管理部
TEL059-224-2185

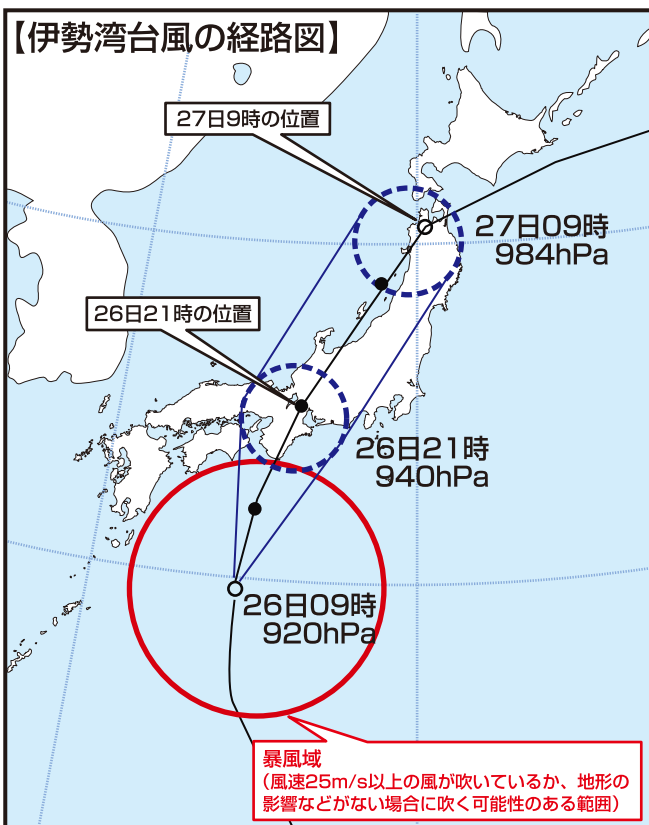
伊勢湾台風から50年

伊勢湾台風の概要

昭和34年9月21日にマリアナ諸島で発生した熱帯低気圧は、22日午前9時に台風15号となり、非常に広い暴風域を伴って26日午後6時過ぎ和歌山県潮岬の西に上陸。その後6時間余りで本州を横断し、全国的に大きな被害をもたらしました。特に伊勢湾周辺地域での被害が大きく、後に「伊勢湾台風」と命名されました。

この台風は、昭和9年の室戸台風及び昭和20年の枕崎台風とともに昭和の三大台風の一つに数えられ、多数の死者・行方不明者を出しました。

この伊勢湾台風での未曾有の被害が契機となって、我が国の防災対策の基となる「災害対策基本法」が制定されました。

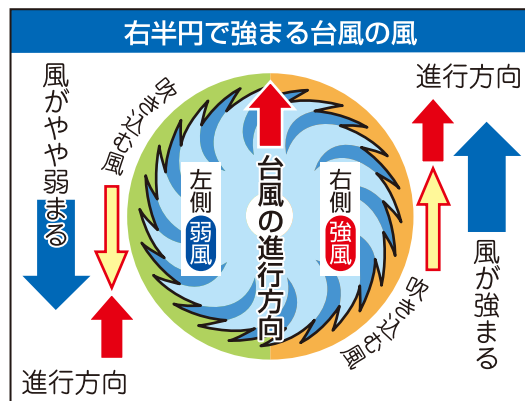


被害を免れるためには

●予想進路情報を確認しよう

台風の予想進路が発表されたら、自分の住んでいる地域のどちら側を通るかを確認しましょう。進行方向に向かって右側の半円では、台風自身の風と台風を移動させる周りの風が同じ方向に吹き、風が強くなるため、特に注意が必要です。

災害は人の力で止めることはできませんが、台風や大雨は予想ができることから、被害にあわないためにも、天気予報やいろいろな情報に注意して早めの対策をしましょう。



●災害の概要

- 死者・行方不明…5,098名(三重県 1,281名)
- 住家浸水……363,611棟(三重県62,655棟)
- 住家全壊………40,838棟(三重県 5,386棟)



桑名市長島町 (提供: 輪中の郷)

知っておきたい風水害情報

大雨の場合に気象庁が発表する防災気象情報



大雨に関する気象情報

警報・注意報に先立ち発表

大雨注意報

警報になる可能性がある場合はその旨予告

大雨に関する気象情報

雨の状況や予想を適宜発表

大雨警報

大雨の期間、予想雨量、警戒を要する事項などを示す

大雨に関する気象情報

刻一刻と変化する大雨の状況を発表

記録的短時間大雨情報

数年に一度の猛烈な雨が観測された場合に発表

土砂災害警戒情報

土砂災害の危険度がさらに高まった場合に発表

県と気象庁が共同で発表

洪水予報を発表する基準となる水位

国土交通省または県と気象庁が共同で発表



市 町 が 発 表			
種別	避難準備情報	避難勧告	避難指示
発表の目安	要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まったとき。	通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まったとき。	前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断されたとき。

こんな前ぶれに注意

長雨や大雨、または地震が発生したときに下記のような現象がおきたら、土砂災害の前兆が考えられます。



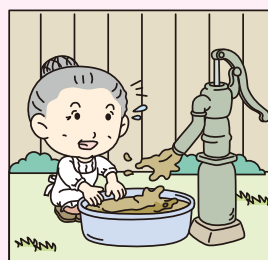
川の流れが濁り
流木が混ざりはじめる



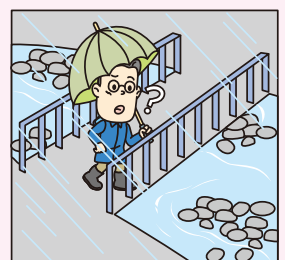
斜面から水がふき出す



地面にひび割れができる



沢や井戸の水が濁る



雨が降り続けているのに
川の水位が下がる